

2015年(平成27年)

1月21日号 No.252

こちら

119

消防テレホンガイド

(333) 3636

火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

年7回(4・6・8・10・12・1・2月)発行

発行 市川市消防局

〒272-0021 市川市八幡1丁目8番1号

TEL 047-333-2111(代) FAX 047-333-8181

ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

※右のQRコードから消防局のホームページへ直接アクセスできます。

▼QRコード



火災・救急件数(12月末日現在)

◆火災 117件【前年比 -8件】

◆救急 21,515件【前年比 +722件】



市民の皆さまの安全・安心のために。

平素は、本市消防団の運営や活動に対し、ご理解とご協力をいただき心より感謝を申し上げます。

さて、我々消防団は、市民の皆様へ安全・安心を守るため、日頃から訓練はもとより、防火防犯活動など、地域に根付いた活動を続けております。

ご承知のとおり消防団は、その地域に居住又は勤務している人が団員となっており、地域の特性について豊富な知識を有し、「自分たちのまちは自分たちで守る。」を合言葉に、災害はもとより火災予防広報活動や警備・パトロールなど、より地域に密着した消防団の特性を活かした活動を続けております。

本年も引き続き地元住民の皆様への期待と信頼に応えるよう、更なる防火啓発活動を推進し、防犯活動にも力を入れ、安全で安心な地域づくりに努めて参ります。

どうか皆様方におかれましても、我々消防団の使命をご理解いただき、市民と消防職団員として行政が一体となって、災害に強いまちを築き上げる事ができるよう、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

終わりに、市民の皆様へ心よりご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。



消防団長 高橋 廣孝

新年おめでとうございます。

平成二十七年の輝かしい新春を迎え、市民の皆様には謹んでお喜びを申し上げます。



消防局長 鈴木 富雄

明けましておめでとうございます。

お迎えのことと、お喜び申し上げます。

旧年中は、消防行政に対しまして皆様の深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全国各地で大雨による被害が発生し、8月には広島市で豪雨による大規模な土砂災害が発生しました。また、9月には御嶽山の噴火により多数の尊い人命が失われ、自然災害の恐ろしさを改めて知らされる1年となりました。

このような中、私たちが暮らす首都圏においては、首都直下地震、東海地震・東南海地震などの大規模地震の切迫性が指摘されており、あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守るといふ我々消防の責務は、ますます大きなものとなっております。

これらを踏まえ、昨年消防局では、大規模災害に対応すべく高度救助隊を発足させ消防対応力の向上に努めたところであります。

本年も市民の皆様への信頼と期待に応えるため、消防組織の基盤強化を図るとともに、消防防災体制の充実強化に向け、積極的に取り組んで参りますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、市民の皆様へ心よりご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

1月	市川市消防出初式(終了) 文化財防火デー消防総合訓練 (26日) 中山法華経寺
3月	春季全国火災予防運動 (1日~7日) 「春のふれあい消防広場」 「みんなの消防広場」
6月	市川市消防団消防操法大会
7月	こどもの消防広場 サマーフェスティバル
9月	救急の日(9日)・救急広場
10月	千葉県消防音楽隊フェスティバル(会場)市川市(24日) 事業所自衛消防操法大会
11月	秋季全国火災予防運動・火災予防絵画展 (9日~15日)
12月	歳末特別火災予防運動 (15日~31日) 歳末特別警戒出動式

平成27年

市川市消防局

イベント予定

見学が可能な主なイベントです。時間や場所は決まり次第WEB・紙面等でお知らせします。

火災予防マスコットキャラクター「かじなし君」

消防広報紙「こちら119」市民アンケート結果集計

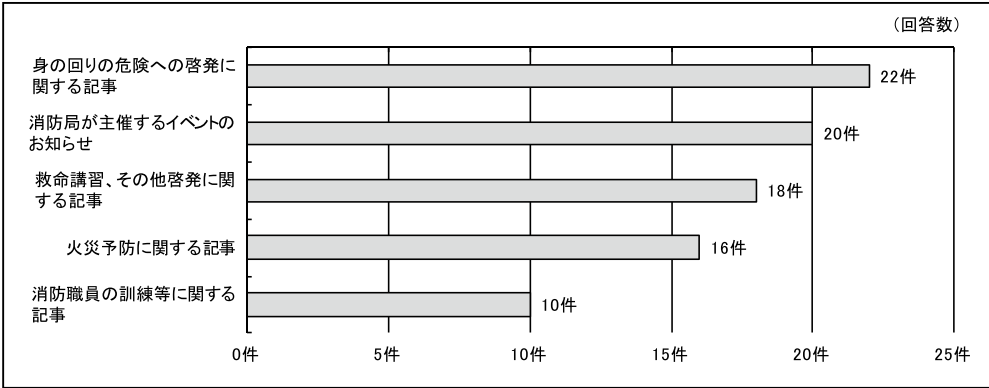
アンケートへのご回答ありがとうございました！



「こちら119」を昭和62年11月に創刊し250号を迎えたことを記念して今後もより市民の皆さまの目線に立った広報誌を目指し平成26年10月15日から11月30日までにかけて、紙面及びWEB上でアンケートを実施しました。

貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。
アンケートで、みなさまの関心のあった記事の上位5つは次のとおりです。

関心のある記事（上位5つ）



関心の高かった「身の回りの危険への啓発に関する記事」については夏には熱中症や水難事故の防止、冬にはお餅などによる窒息事故の予防・応急手当など、その時期ごとに起きやすい事故を特集し、防止の啓発をしています。アンケートでは、こどもに起きやすい事故の事例を載せて欲しいといった要望もありました。

また、毎年北消防署で行っている「サマーフェスティバル」、ニッケコルトンプラザで行っている「救急広場」など、こどもから大人まで学んで楽しめるイベントを企画しており、こちら119を読んで関心を持ち、県外からお越しいただいている方もいらっしゃいました。

その他、「市民が見学できる訓練の紹介」「救助、救命に貢献した市民の紹介」といった記事の要望や、「消防に関するクイズを掲載してはどうか」といったアイデアをいただくことが出来ました。

今後も、市民のみなさまに消防を身近に感じていただくとともに、防火・防災への関心を高めていただけるよう、広報誌を作成してまいりますので、引き続き消防広報紙「こちら119」にご期待ください。

文化財防火デー 消防総合訓練

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。
さまざまな災害から文化財を守り、歴史的遺産を大切に保護し、後世に伝えていくために、関係者及び消防機関が協力し、消防総合訓練を実施します。



文化財防火デー

昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺金堂が炎上し、国宝の十二面壁画が焼損したことを契機に、昭和25年に文化財保護法が施行され、昭和30年には1月26日が「文化財防火デー」と定められました。



写真：昨年の訓練の様子

消防局からのお知らせ

○本日に救急車を必要としている人のため、救急車の適正利用にご協力ください。
※緊急の際はためらわず救急車を呼んでください。
救急車を呼ぶか判断に迷ったとき

「市川市急病医療情報案内」
24時間365日(無休)
☎0120・241・596
(フリーダイヤル)※携帯電話、PHSからも利用できます。

○2月の救命講習会

日程 普通救命講習18日(水)・21日(土)・24日(火)

※24日は小児・乳児の心肺蘇生法を練習

外傷応急手当15日(日)

時間 9時から12時
定員 各日程とも30名



写真：小学校の防災教育で庁舎見学をする小学生親子で救命講習会を受講することもお勧めです！

場所 消防局5階
受付 2月9日(月)から
電話 ☎3333・2111
(音声ガイダンス番 救急課)

○日頃から家族で防災について話し合ひましょう
災害時に身を守るために、防災について関心を持つことが重要です。ご家庭でも日頃から火災予防・家の中の安全対策、備蓄品、避難場所など話し合ってみてはいかがでしょうか。



【消火器の使い方】

安全ピンを上に取り、ノズルをしっかりと持ち、レバーを握ります。炎は近く火元を狙い、ほうきで掃くように薬剤を噴射します。
※天井まで火が燃え広がってしまったら消火は困難です。無理せず避難してください。

家族でできる火災予防
たこ足配線をしていないか、ストーブやコンロの周りに燃えやすいものを置いていないか家族で確認をしましょう。
また、門扉や車庫などの施錠管理や、ご自宅の周りに可燃物等を放置しないなどの、放火させない環境づくりも重要です。

○若いチカラを消防団に！

近年、消防団員の減少、平均年齢の上昇が進み、大学生、専門学生等、若い力の消防団への参加が強く期待されています。
市川市では、市内在住又は在勤で18歳以上の健康な方であればどなたでも入団することができます。

消防団の活動の中で、様々な経験や知識を得ることが出来ます。

地域社会の一員として、消防団に参加してみませんか。

問い合わせ

警防課 333-2111
音声ガイダンス3番



★総務省消防庁の「消防団オフィシャルウェブサイト」も是非ご覧ください。



「インフルエンザ」にご注意下さい

インフルエンザは一般的な風邪の症状と比較し、突然の高熱、頭痛、筋肉痛などの全身症状が強く現れるのが特徴です。
インフルエンザを予防する方法としては、以下が挙げられます。

【手洗い、うがい、マスクの着用】

インフルエンザはくしゃみや咳などの飛沫と共にウイルスを体内に吸い込んだり、ウイルスが付着したドアノブやスイッチなどに触れたあと鼻や口の粘膜を通じて感染することが主な原因となります。
手洗いやうがい、マスクを着用しウイルスを防ぎましょう。

【抵抗力を上げインフルエンザに負けないからだに】

- ・適切な室温(20℃)、湿度(50~60%)を保ちましょう。
- ・バランスよく栄養を摂り、質の良い睡眠を心がけましょう。
- ・適度な運動で抵抗力をアップしましょう。

また、インフルエンザにかかったかなと思ったらなるべく早く医療機関を受診し、マスクをするなど周囲の人にうつさないよう心がけましょう。